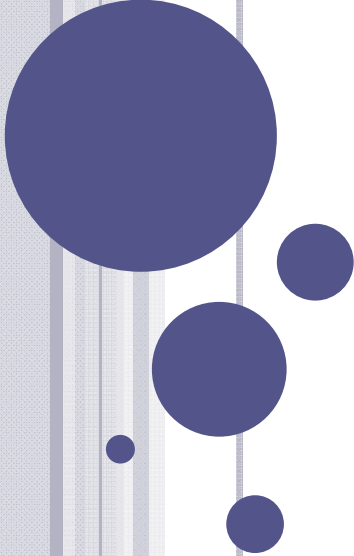




SEKISUI PLASTICS CO., LTD.

積水化成

2011年11月8日

A decorative graphic consisting of several blue circles of varying sizes, arranged in a cluster on the left side of the page.

# 2012年3月期 第2四半期決算説明会

# 2011年度上期 決算概要

単位:億円

	2010年度 上期実績	2011年度 上期計画	2011年度 上期実績	前年 同期比
売上高	500.7	518.0	502.6	+1.9
営業利益	25.2	20.0	11.4	△13.8
経常利益	22.9	19.0	9.5	△13.4
当期純利益	11.1	9.0	2.1	△9.0

- 東日本大震災の直接的な影響に加え、消費マインド低下など間接的な影響も受ける（東日本大震災による直接的な影響額:売上高▲17億円、利益▲5億円）
- 世界的な景気変動から自動車・テレビ関係など需要伸び悩みが影響
- 原材料価格上昇に対する製品価格改定に遅れ

# 2011年度上期 生活分野業績

単位:億円

		2010年度 上期実績	2011年度 上期計画	2011年度 上期実績	前年 同期比
生活分野	売上高	336.6	334.0	337.1	+0.5
	経常利益	14.0	12.7	10.6	△3.5

PSP中心に売上増も、EPS・PSPの値上げ時期遅れ、末端製品の価格転嫁難航で減益。

農水産関係： 震災影響も重なり、全国的にEPS魚函・農産箱が不振。

食品流通関係： PSPカップめん容器向けは震災特需以降も節電の影響等で好調。

PSP食品トレー向けも内食化の影響で出荷増。

建材土木関係： 建材は仮設住宅向け特需。土木資材は工事遅延で減少。

# 2011年度上期 工業分野業績

単位:億円

		2010年度 上期実績	2011年度 上期計画	2011年度 上期実績	前年 同期比
工業分野	売上高	164.1	184.0	165.4	+1.3
	経常利益	16.9	13.5	7.2	△9.7

ピオセラン・テクポリマーなど高付加価値製品の売上減少により、利益率ダウン。

家電・IT関係： ピオセランを中心とした薄型テレビ関連搬送資材は、特に第1四半期で、震災影響に加え液晶パネル生産調整により減少。  
モバイル端末関連搬送資材は、中国・台湾で需要増加。  
テクポリマー液晶拡散フィルム向けも海外顧客の需要回復鈍く減少。

自動車関係： 第1四半期は震災影響により減少も、想定よりも早く回復。

その他床暖房・浴槽断熱材や仕入商品の売上増加。

# 2011年度下期修正計画概要

単位:億円

	2010年度			2011年度			
	上期実績	下期実績	年間実績	上期実績	下期計画	年間計画	前年度対比
売上高	500.7	513.5	1014.2	502.6	581.4	1084.0	+69.8
営業利益	25.2	23.6	48.8	11.4	36.6	48.0	△0.8
経常利益	22.9	23.4	46.3	9.5	35.5	45.0	△1.3
当期純利益	11.1	12.0	23.1	2.1	20.9	23.0	△0.1

## 上期の大幅未達(特に利益)を挽回し、成長軌道に復帰する

- グローバルベースでの成長市場需要増取り込みを促進する。  
(営業に加え、商品設計開発人員の海外シフト実施)
- 原材料価格の動向に的確に対応し、末端市場での拡販に注力する。
- 省エネ等のコストダウンや固定費・投資の抑制も含め、全グループあげて費用削減に取り組む。

# 2011年度下期修正計画・・・生活分野

単位：億円

	2010年度			2011年度			
	上期実績	下期実績	年間実績	上期実績	下期計画	年間計画	前年対比
売上高	336.6	349.5	686.1	337.1	378.9	716.0	+29.9
経常利益	14.0	12.7	26.7	10.6	22.5	33.1	+6.4

## 食品流通関係の拡販と、原材料価格の動向を注視し利益率の改善。

- 農水産関係： 原料価格の動向に的確に対応し、末端商品の拡販推進。
- 食品流通関係： 内食化傾向で堅調な需要に加え、耐熱食品トレー向けなど他素材からの切り替えで増販。
- 建材土木関係： 土木資材での復興需要の機動的取り込み。

# 2011年度下期修正計画・・・工業分野

単位:億円

	2010年度			2011年度			
	上期実績	下期実績	年間実績	上期実績	下期計画	年間計画	前年対比
売上高	164.1	164.0	328.1	165.4	202.6	368.0	+39.9
経常利益	16.9	14.2	31.0	7.2	20.4	27.6	△3.4

テレビ・自動車などグローバルベースでの需要取り込みと、モバイル液晶などの成長市場展開で、ピオセラン・テクポリマー中心に成長軌道復帰。

- 家電・IT関係： 液晶テレビは国内縮小も世界規模では需要増加をキャッチアップ  
新市場(ピオセランの中・韓・台液晶パネルメーカー攻略)と新領域(モバイル液晶関連搬送資材、LED照明部材など)の早期拡大。
- 自動車関係： 国内増産への的確な対応と、新部位での部材採用拡大。  
部品搬送資材での海外案件の早期受注。

# 2011年度 設備投資の状況

単位:億円

	2010年度			2011年度		
	上期実績	下期実績	年間実績	上期実績	下期計画	年間計画
設備投資額 (うち土地)	30.2 (10.2)	15.4 (0.7)	45.6 (10.9)	31.6 (7.3)	18.9 (0.2)	49.6 (7.5)
減価償却費	17.8	20.3	38.1	17.8	20.5	38.3

## 【主な設備投資】

### <上期実績>

- ピオセラン中国蘇州工場生産設備増設
- ピオセラン米国テネシー工場発泡設備増設、成形工場建設
- PSP増産対応設備増設
- 国内グループ会社土地購入

### <下期計画>

- ピオセラン滋賀工場生産能力増強

# 2011年度 配当について

単位：円

2010年度			2011年度			
中間	期末	合計	中間	期末(予)	合計(予)	前年対比
5.0	5.0	10.0	3.0	5.0	8.0	△2.0

当社では、業績に裏付けられた安定配当を持続していくことを基本方針としております。

上期の業績ならびに通期の業績予想等を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら中間期末の1株当たりの配当を2円減配し、3円といたしました。

この結果、1株当たり年間配当は、前年度から2円減配の8円となる予定です。